

## 水害ハザードマップ別冊 項目表

## 1 ハザードマップ別冊の位置づけ

ハザードマップを補足する資料として、市民が災害発生の前に事前学習を十分にできるように作成するもの。このため、ハザードマップと別冊をリンクさせ、かつハザードマップに収録しきれない情報も含めてわかりやすく掲載する。

No	大項目	中項目	・小項目	◇ねらい等
1	表紙	表題	◇別冊の標記、保存版のイメージ	
		冊子作成の目的(はじめに)	◇自然災害の増加、HMと併用した冊子の活用、リスクを把握して事前に避難について学習することの重要性を伝える	
		住まいの危険度の書き込み欄 【HMの再掲】	◇内容を理解した後に記入	
2 3	HMから危険度を知る	あなたの住まいの危険度は？ 【HMの再掲】	◇早期立ち退き避難が必要な地域かを確認する	
			・立ち退き避難と垂直避難の用語整理	
	避難場所の選定	あなたの避難場所は？ 【HMの再掲】	◇浸水地域以外か、浸水地域内かで避難行動が変わることの理解	
		避難先の事前決定	・分散避難(特に親戚等宅への避難)	◇浸水以外の感染症対策等への注意点
4 5	避難経路の選定	避難経路の注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水が始まる前の避難開始</li> <li>・避けるべき危険箇所</li> <li>・徒歩(車両)による避難の場合</li> <li>・平常時に実際に歩いて危険箇所を確認することの重要性について</li> </ul>	
		自身の避難経路の選定	◇HMへ書き込みするように	
	警戒レベルと避難行動を考える	あなたの避難のタイミングは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年改正の警戒レベルと市民のとるべき行動</li> <li>・連携する気象情報等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇避難の判断は自ら行う</li> <li>◇遅くともレベル4までに避難</li> </ul>
		なぜ、早期避難が必要か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇浸水の危険性、避難判断の難しさ、正常性バイアス等、</li> <li>◇自主避難の必要性</li> </ul>	
	避難場所と避難所	指定緊急避難場所と指定避難所	・用語解説	◇まずは危険から避難場所に逃れるイメージ付け
			・福祉避難所の説明	◇災害発生時すぐに避難できる場所ではない
6 7	避難の心得	避難時のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装等</li> <li>・危険回避</li> <li>・万が一浸水している場合の注意点</li> <li>・自身の感染症対策</li> <li>・ペット同行避難のために</li> </ul>	◇理由をつけて
		常時携行品等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時準備しておくもの(例)</li> <li>・持ち出し袋(例)</li> </ul>	

No	大項目	中項目	・小項目 ◇ねらい等	
8 9	参考 情報	情報の種類 【HMの再掲】	◇必要な情報は自ら入手するように	
		情報の種類と 入手要領  情報の入手方法	・TVのデータ放送	◇得られる情報を説明
			・気象庁HP	◇警報、危険度等を整理・ 説明
			・県ポータルサイト	◇特に河川の水位情報
			・防災ネットあきた、HP、ツイッター ・携帯を持たない高齢者対策	◇逃げてよコールの周知
土砂災害 発生の メカニズム	兆候と発見時の処置	◇《周辺住民に対し》兆候発見が早期避難につながることから、普段から地域の観察が重要であることへの理解		
10 11	ま と め	避難行動の判定フロー	◇家族等で話し合い、書き込み、避難のイメージと防災啓発	
		マイタイムライン		
12	裏 表 紙	防災メモ	緊急時の連絡先	◇書き込みし家族間で共有
			家族との連絡手段	
		防災PR	防災ネットあきた 【再掲】	◇重要PRとして再掲
			秋田市HPURL	◇HM へのリンク
水害避難の キャッチコピー	◇「避難は自らの判断」「早期避難」の浸透をイメージ			

## 2 その他

- (1) 表中のHMはハザードマップ、HPはホームページを指す。
- (2) A4版縦使用の冊子であることから、見開き2ページを意識して作成する。